

今日の名言、格言、心に響く言葉

校長 舘岡 靖哲

まだまだ寒い日もありますが、陽の光に春の気配を感じる季節となりました。3年生はすでに特別の日課となり、まもなく卒業式の練習も始まります。3年生の皆さんが本校に入学した当初は、コロナ禍の影響で学校生活にも様々な制限が加わり、不自由さや窮屈さを強いられることも多かったと思います。そんな中でも、前向きな学校生活を送り、様々な試練をも成長につなげることができました。これから先、どんな困難なことが起こったとしても、どんな厳しい時代になったとしても皆さんなら乗り越えることができると確信しています。また、2年生は3月6日（金）から2泊で『舘岩自然の教室』が控えています。集団での宿泊学習を通して様々な事を学び、個人として、更には集団としても成長して、次年度に活かしてほしいと願います。1年生も後輩を迎え入れる準備を進めています。入学当時のあどけなさに比べて、1年間で成長した現在の表情には、頼もしさを感じます。

さて、今年度の学校だよりでも触れましたが、昨年度まで前任の谷口教頭が「今日の言葉」として、名言や格言、心に響く言葉を職員室前のホワイトボードに掲示していました。本年度は私が引き継ぎ、職員室前に加えて生徒用昇降口にも掲示しております。教職員や保護者、学校を訪れた方々からも、この掲示についてお話をいただくことがあります。生徒からも「毎日楽しみにしています」「心が折れかけていた時に、励まされました」「受験の面接で活用します」等の声が届きました。校長として嬉しい限りです。

ところで、この掲示物（以下、今日の名言と表記）も2月末日で200号を超えました。2月に入ると、圧倒的に増えた今日の名言が、ミラノ・コルティナ五輪に係るものです。開催国イタリアと日本の時差は約8時間です。私も深夜から早朝にかけて、眠気と闘いながら観戦する日々が続きました。オリンピック選手たちは、目標達成のために多くの努力と犠牲を払っています。彼らの言葉は、競技への情熱や困難を乗り越える精神力を反映しており、私たちに深い感動を与えます。ここで、今日の名言として掲示したものを紹介いたします。

- 「金より良いと書いて銀メダル」 吉田知那美（元カーリング日本代表）
ジャンプ競技で金メダルを逃し、悔しそうな二階堂選手に対して発した言葉
- 「あきらめない気持ちは階段になって頂上に連れて行ってくれるんですね」
「こんな最高の気分合う日本語なんて思いつかない」 高橋成美（フィギュア解説者）
木原選手の元ペア高橋さんが、フィギュアスケートペア金メダル獲得で発した言葉
- 「自分の滑りが応援してくださる方々、子どもたちにとって少しでも挑戦する勇気や、
一歩を踏み出すきっかけになればうれしい」 平野歩夢（スノーボード男子）
オリンピックの1カ月前に複数箇所の骨折。ケガの影響が心配される中で発した言葉

まもなく卒業式です。本校を卒業した生徒が、スポーツの分野に限らず、多くの人々に感動を与えてくれるような活躍を期待し、学校だよりの巻頭言を締めたいと思います。

最後になりますが、保護者・地域の皆様、関係諸機関の方々には、この一年間、本校の教育活動に対しまして、ご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。来年度も全教職員が力を合わせて信頼される学校づくりに努めてまいります。何卒よろしく願いいたします。